

# 大学の図書館

第40巻第8号 (No.573)

2021 8



## 目次

ポジティブ心理学からみた職場としての図書館 ..... 井上 昌彦 ...121

**特集：貴重資料を保存する**

西洋古典資料の保存：一橋大学社会科学古典資料センターの場合 ..... 堀越 香織 ...122

龍谷大学大宮図書館に於ける貴重資料コレクションと  
修復・保存について ..... 大木 彰、隨念 佳博 ...124

名古屋大学附属図書館所蔵高木家文書の保存・活用における  
クラウドファンディング ..... 鷺津 彩乃 ...127

桂図書館の貴重書庫紹介 ..... 長坂 和茂 ...129

第29回大図研オープンカレッジ  
「効果的なガイダンス動画作成講座」参加報告 ..... 河野由香里 ...132

### ポジティブ心理学からみた 職場としての図書館

井上 昌彦

私ごとで恐縮だが、先日「ポジティブ心理学実践インストラクター」の資格を取得した。

「ポジティブ心理学」とは、人生におけるポジティブな要素を研究する学問である。どのような条件を満たせば人は幸せだと感じられるのか、科学的に検証・考察するものだ。

ポジティブ心理学で、特に重要な幸せの要素とされるのは、ポジティブ感情、熱中、人間関係、(取り組んでいることの)意義、達成感、身体的活力である。これらが高まれば人は幸せを感じ、最近よく言われる「ウェル・ビーイング」(肉体的にも精神的にも社会的にも満たされた状態)となる。

では、ポジティブ心理学の視点で、職場としての図書館を見ればどうだろうか。図書館も労働現場であり、働く職員がウェル・ビーイングを実感できるべきであろう。

そうした場づくりは、一義的には各図書館(あるいはその上部機関)が組織として取り組むべ

きであるが、それだけでは十分ではない。大切なことは、組織任せにせず一人一人が、よりよい職場を作るよう意識し行動することではないだろうか。

私の場合、職場を「明るく楽しく前向き」な場にするべく、ささやかなチャレンジを続けている。

館内の他課を含め何かにかこつけて同僚に声をかけたり、やってくれた仕事のよいところを探して伝えたり、頑張ってくれた人の机の上に感謝のメッセージを残したり。業務委託スタッフや清掃、警備といった仲間に声をかけたり、お菓子を差し入れてみたり。

これらは上に挙げたうち、「ポジティブ感情」「人間関係」にフォーカスしていることだろうか。ささやかではあるがこうした積み重ねが、図書館を「明るく楽しく前向き」に変えていくと信じている。

そこにいる皆がウェル・ビーイングを実感でき、その結果さらによりサービスを生み出す図書館でありたい—そう願う毎日である。

(いのうえ・まさひこ／関西学院大学図書館)

## 特集：貴重資料を保存する

カビ、虫害、紙の劣化……。図書館で貴重資料の担当になると、「普段からどのように管理すればいいのか?」「保存に適した環境を用意したいけど、どうしたらいい?」「他の図書館ではどんな対策をしているのか?」など、資料保存について頭を悩ませることも多いのではないのでしょうか。

本号では、貴重資料に焦点を当て、4名の方に資料の保存・修復への取り組みをご紹介します。貴重書庫内の設備や、クラウドファンディングの事例のほか、通常業務の中で実践可能な環境保全方法についても執筆いただいております。自館の資料の保存にお役立てください。

(編集担当：兵庫地域グループ)

### 西洋古典資料の保存：一橋大学社会科学古典資料センターの場合

堀越 香織

#### はじめに

一橋大学社会科学古典資料センター（以下「センター」という）は、主に1850年以前に出版された西洋古典資料の収集・保存・研究にあたることを目的として、1978年に一橋大学附属図書館から分離設立された、研究組織を持つ貴重書図書館である。現在約76,200点の資料を所蔵しており、年に数点～数十点を新規に受入している。

#### センターの資料保存方針

センターにおける資料保存は「①資料受入時の製本形態をできる限り保存する」「②更なる劣化の進行を防ぐ予防的修復処置を目的とする」ことを方針としている。資料に余計な手を加えず、現状またはオリジナルに近い状態を保って末永く後世に伝えるという姿勢である。

#### 受入時の保存処置と資料の把握

資料を受入する際は、まず殺虫処理（急速冷凍での低温処理、または密封袋と脱酸素剤

を用いた低酸素処理）を行う。低温処理と低酸素処理にはそれぞれ長所と短所があり、センターでは、受入時は低温処理、展示等に人気で頻繁に出入りがある資料は低酸素処理を行うようにしている。

殺虫処理が終わったら、刷毛やクロスを用いてほこり等のクリーニングを行う。

続いて、資料の状態調査を行い1点ずつカルテを作成する。カルテには、資料の構造や材料、劣化状況、行ったあるいは今後外注等で行いたい保存修復処置などを記録する。カルテを作成しておくことで、保存修復計画立案や予算要求の際に、対象資料の選定を簡単に行うことができる。また破損や劣化が受入当初からのものなのか新たに生じたものなのか判断できる。製本構造や使用材料による劣化傾向の分析も可能となる。

その後、必要に応じた保存修復処置を行う。劣化の進行を抑える予防的処置としては中性紙製保存容器へ収納する（箱やフォルダ等への収納、保護ジャケット装着など）。資料に直接施す処置としては、利用に支障のある傷み（ページ破れ等）の修理、資料に悪影響を与えるもの（過去の不適切な修理等）の除去など。保存修復処置は必要最少限とし、可逆性のある方法とする。

洋書特有のこととしては皮革への対応がある。ベラム等のなめしていない皮は水に弱いので、中性紙製保存箱に入れ、急激な湿度変化や結露、万一の水損による影響を緩和する。劣化した革への対策としては保革油の塗布が一般的であるが、センターでは諸々検討した結果2015年から保革作業を中止し、保護ジャケットをかけて対応している。

行った処置はすべてカルテに記録する。

### 保存環境整備

#### ・温湿度管理と光対策

書庫は3階建て建屋の2・3階で、3階の避難・消防隊突入口3ヶ所を除き窓はない。3ヶ所の窓はブラインドで遮光している。壁は二重で、外気の温湿度変化を受けにくくなっている。また壁に調湿ボードを貼っている。空調は夏期のみ稼働させている。

書庫内の湿度は概ね48%～55%程度を保っている。温度は真冬12度、空調稼働直前で26度、空調稼働期は19度くらいである。毛髪式温湿度計とデータロガーで継続的に測定している。双方の測定温度は同じだが、湿度に8%程度の差があるのが謎である。

照明は紫外線と熱の放射が少ないLEDライトを使用し、人感センサーで必要な場所のみ点灯させている。

#### ・虫害対策

IPMに基づき虫害対策を行っている。

虫の侵入を防ぐため、玄関、閲覧室入口、書庫入口等に足拭きマットや粘着シートを置き、靴に付着した汚れや虫を除去する。ドアの下部の隙間を防虫防塵用のブラシでふさぐ。書庫入庫時はスリッパに履き替える。センター外へ持ち出した資料は、殺虫処理してから書庫へ戻す。玄関や建物周りの落ち葉清掃、草刈りも欠かせない。

また虫を増やさないために、書庫の床を2ヶ月に1回、超極細繊維ダスターまたはHEPAフィルタ付き掃除機で清掃する。粘着

トラップによる虫捕獲調査を夏期に2回行う。以前はフェロモントラップでの調査も行っていたが、長らく対象の虫がかからないことから、センターのような狭い場所ではかえって外部から虫を誘引する恐れがあるとして2019年から中止している。

#### ・地震による落下防止

書架の上部3段に落下防止バーを設置している。また中性紙ボードで作製した厚さ2～3cmの「隙間ボックス」を書棚の右端の隙間や出納中の資料の場所に入れ、揺れたときに資料を動きにくくしている。スチールの棚板の上に資料保護と調湿目的で敷いている中性紙ボードにより摩擦係数が上がり資料が動きにくくなっている面もある。

#### ・屋上からの浸水対策

年2～3回の業者清掃のほか、落ち葉や大雨の季節には2週間に1回程度、職員が屋上の排水口まわりを清掃している。

### 資料の運用

資料の利用は予約制とし、利用請求のあった資料は現物を確認して閲覧上支障のある傷みがないか確認してから予約完了となる。もし閲覧上支障のある傷みがあった場合は、当日までに修復したり、閲覧者に取り扱いの注意を促す。閲覧終了後も新たに傷みが発生していないか確認してから書庫に戻す。

利用に際し、資料の開きすぎは表紙や綴じの損傷につながるので、120度以上開かないようにする。閲覧時は必ず書見台を使用する。書見台は市販品や作製したものを4種類ほど用意し、資料の形態や状態に合わせて使い分けている。開いたページを抑えるためには、スネークウェイトというひも状の文鎮を使用する。複写や撮影に際してもV字型のクレードルを使用する。

ここまで述べてきたことは、センターで刊行した『西洋古典資料の組織的保存のために』

改訂版<sup>1)</sup>や、西洋古典資料地域保存講習会の資料『予防的資料保存：今私たちができること』<sup>2)</sup>に豊富な写真・図とともに詳しく紹介している。ぜひご覧ください。

### 西洋貴重書保存インデックス<sup>3)</sup>

センターウェブサイトに掲載している「西洋貴重書保存インデックス」は、西洋古典資料の保存管理に関する自己点検・自己評価のための指標となるよう作成したものである。「組織」「閲覧」「セキュリティ」「環境」「複製」の5ジャンル各10計50の設問に、「できている」(2点)、「ややできている」(1点)、「できていない」(0点)の3段階で回答すると、レーダーチャートと総合点で評価を取得することができる。なお、西洋貴重書と銘打っているが、洋書特有の事項数点を除き和漢古典籍と西洋古典資料の保存管理には大差がないため、和漢書の保存管理の自己点検評価にも応用できる。実際にやってみると「できている」と言えるほどの自信がないことが多いが「気づき」も多く、異動等で新たに貴重資料の担当になった方にはぜひ一度試してみたい。自館で足りないところ、強化すべきところを確認して予算要求につなげるなど、ご活用いただければ幸いである。

このインデックスを使用して2019年に行った「西洋古典資料の保存に関する全国調査」の結果は、センター年報にて報告している<sup>4)</sup>。

### おわりに

2～3年で携わる仕事が変わり保存修復を精通していなくても、貴重資料担当になったからには「資料を後世に伝えていくために今どうしたらよいかの判断ができるようになる」ことが求められる。センターは、西洋古典資料保存講習会等を通じて、西洋古典資料の保存に関する知識の伝搬・共有に努めている。何かありましたらどうぞお問合せくださ

い。

1) 増田勝彦, 床井啓太郎, 岡本幸治. 西洋古典資料の組織的保存のために. 改訂版. 2010. (一橋大学社会科学古典資料センター Study Series, 64)

<https://doi.org/10.15057/18610>

2) 一橋大学社会科学古典資料センター保存修復工房作成, 篠田飛鳥編・改訂. 予防的保存：今私たちができること. 2019.

<https://hdl.handle.net/10086/30967>

3) 西洋貴重書保存インデックス.

<https://chssl.lib.hit-u.ac.jp/preservation/benchmark/>

4) 馬場幸栄. 「西洋貴重書保存インデックス」による西洋貴重書保存管理の指標と評価. 一橋大学社会科学古典資料センター年報. 2020, 40, p. 9-26.

<https://doi.org/10.15057/31141>

(ほりこし・かおり)

一橋大学学術・図書部学術情報課)

## 龍谷大学大宮図書館に於ける貴重資料コレクションと修復・保存について

大木 彰、隨念 佳博

### ・はじめに

龍谷大学は、寛永16年(1639)に本願寺に開設された学寮に始まり、380余年の歴史を有する。図書館は、深草、大宮、瀬田の3キャンパスに設けられており、中でも大宮図書館は最も古く、長い年月をかけて学術的価値や歴史的価値を有する書籍が収集され、幾つかの貴重資料コレクションを形成するに至っている。

本稿では、大宮図書館が所蔵する貴重資料コレクションの概要を紹介するとともに、貴

重資料の修復・保存について述べる。

### ・貴重資料コレクションについて

大宮図書館の主な貴重資料コレクションの概要は、以下のとおりである。

#### ① 写字台文庫

写字台文庫は、西本願寺歴代宗主が収集・伝持してきた書籍である。収集された資料は、真宗・仏教関係をはじめ、文学、歴史、自然科学、芸能等の幅広い分野に及び、『解体新書』の初版本などが知られている。

「写字台」とは、宗主の居室の呼称であり、本来は宗主の個人的な蔵書であった。第20代宗主廣如は、弘化3年（1846）家臣に命じて、書籍の整理などを行わせた。整理事業は、安政3年（1856）に完成し、西本願寺の子弟の教育に役立てられた。

明治期に入り、第21代宗主明如が、前田慧雲（後の龍谷大学学長）らに写字台文庫の整理を命じ、明治25年（1892）と明治37年（1904）の2回に分けて、龍谷大学に約3万冊が寄贈された。

現在も、西本願寺旧蔵の貴重資料コレクションとして扱われているだけでなく、有益な研究資料として、学内外の人々に活用されている。（注1）

#### ② 大谷探検隊将来資料

大谷探検隊は、明治35年（1902）から大正3年（1914）に、西本願寺第22代宗主大谷光瑞が、仏教伝播のルートを調査するために、中央アジアに派遣した調査隊である。資料は、中央アジア以外に、一部インドや中国内地からも将来された。

大宮図書館所蔵の将来資料は、大谷光瑞が昭和23年（1948）に遷化された後、西本願寺で遺品整理をしていた際に発見された木箱に収められていたものである。資料は、仏教関係写本や文書断片など約9,000点に及び、第23代宗主大谷光照の厚意により、龍谷大学に寄贈された。その後、探検隊隊員や隊員

の家族からも、仏教関係写本や文書断片、仏像、記録写真、探検日誌、計測器などの寄贈を受け現在に至っている。

仏教関係写本や文書断片は、1000年以上前の資料なども含んでおり、尚且つ漢文以外にウイグル語、ソグド語、西夏語など多言語に及んでおり、仏教学、歴史学、言語学などの分野で非常に貴重な資料として評価されている。中でも中央アジアのローラン（楼蘭）で出土された「李柏尺牘稿」は、国の重要文化財に指定されている。（注2）

#### ③ 禿氏文庫

大宮図書館には、元教員の旧蔵書が文庫として幾つか所蔵されている。その一つである禿氏文庫は、龍谷大学名誉教授であり、仏教書誌学などの研究者として知られる禿氏祐祥の旧蔵書である。1948年（昭和23年）に、1,000点余りの蔵書が龍谷大学に寄贈されたのを契機に、その後も寄贈を受け、現在では計2,363点が収められている。

資料の構成は、真宗・仏教・日本史・日本文学関係など多岐の分野に渡り、『正信念仏偈』（延徳3年（1491）写本）をはじめとする数々の貴重資料が収められており、内外の研究者から注目されている。

上記以外にも、一枚刷り木版画類420点余り、拓本類140点余りが収められており、コレクションとして貴重である。（注3）

#### ④ 龍谷蔵資料

大宮図書館が所蔵する資料の中で、特に貴重とされる資料を貴重資料、それに準じる資料を準貴重資料として分類した上で、貴重書庫である「龍谷蔵」に収蔵している。

現在、龍谷蔵に収蔵している貴重資料は840点余り、準貴重資料は1,030点余りである。資料の中には、国宝である『類聚古集』や国指定重要文化財である『念仏式』が含まれている。その他、写字台文庫の資料の中で、特に貴重とされた資料も龍谷蔵に収めている。（注4）

### ・貴重資料の修復・保存について

以上、大宮図書館の貴重資料コレクションの概要を紹介したが、紹介したコレクションだけでも膨大な点数になる。そのため、修復・保存も有効に行えるようにすることが必要となる。

まず、修復は、特に貴重な資料である龍谷蔵の資料を中心に、優先順位を付けて効率の良い修復に努めている。一方、他の貴重資料コレクションでは、利用の際に修復が必要と確認された資料は、その都度業者に修復を依頼している。また、修復業者に依頼するだけでなく、糸綴じの切れなど軽微な修復は、図書館スタッフで行うようにしている。

次に保存であるが、資料の一部には、修復することで紙質などの情報が失われる恐れがあるため、現状のまま長期保存できる環境が求められている。そのため、IPM (Integrated Pest Management: 総合的有害生物管理) の手法を視野に入れた環境の保全を行っている。(注5)

具体的に、貴重資料コレクションは、24時間温湿度が管理されている貴重書庫で保管しており、データロガーで温湿度の変化を確認しつつ、必要に応じて空調の運転を調整している。また、毎月1回貴重書庫内の清掃を行い、環境を維持するとともに、書庫の入口には粘着マットを設置し、虫や微生物の餌となるゴミの侵入を防止するようにしている。加えて、毎月虫害トラップを設置し、文化財害虫の有無を確認している。

### ・結びに代えて

以上、龍谷大学大宮図書館の貴重資料コレクションの概要と修復・保存について述べた。限られた予算を有効に使うって貴重資料コレクションをはじめとする資料の修復・保存に努めている。修復の予算の減少、物価の上昇の中で、資料の状態、利用状況などを考慮して、より有効に修復が行えるようにすることが課

題となっている。

貴重書庫の管理は、基本的に担当職員のみで行っており、データロガーや虫害トラップの設置場所の調整、清掃の工夫など、限られた時間の中で有効に行えるように取り組んでいる。万一、温湿度や虫害トラップに異常が確認された場合、確認された場所のモニタリングの強化や重点的な清掃などで対応することになっている。

昨年からは、コロナ禍の影響により、図書館の運営においても、取り巻く状況は決して良くはないが、これまで受け継がれてきた貴重資料を後世に繋いでいくためには、最善の手段を繰り返し検討し、積極的に実行していく姿勢が必要であると考えている。

(注1) 平春生. 写字台文庫の成立について. 龍谷大学論集. 342号, 1951, p.58-83.

平春生. 釐正写字台文庫目録定則. 龍谷大学論集. 384号, 1967, p.83-108.

(注2) 小田義久. 龍谷大学図書館蔵大谷文書について. 小田義久責任編集. 大谷文書集成 壹. 法蔵館. 1984, p.1-20. (龍谷大学善本叢書5).

百濟康義・森安孝夫・坂本和子. 大谷探検隊収集西域文化資料とその関連資料. 龍谷大学仏教文化研究所紀要. 1996, 第35集, p.41-109.

片山章雄. 大谷探検隊将来断片資料の追跡をめぐって. 龍谷大学仏教文化研究所紀要. 2009, 第48集, p.192-212.

三谷真澄. 大谷探検隊将来の仏教写本 - 最新の研究成果 -. 龍谷大学龍谷ミュージアム・読売新聞社編. 仏教の来た道 - シルクロード探検の旅. 龍谷大学龍谷ミュージアム・読売新聞社. 2012, p.190-199.

大木彰. 非図書資料としての大谷探検隊将来資料. 大学図書館研究. 113巻, 2019, p.2045-1-8

- (注3) 龍谷大学大宮図書館編. 龍谷大学図書館蔵禿氏文庫善本解題・分類目録. 龍谷大学, 2012.  
禿氏文庫について、2020年度龍谷大学大宮図書館展覧 (Web展覧) で、「禿氏裕祥〜知の先人〜」として主な資料を公開した。(2021年5月31日参照) ([https://opac.ryukoku.ac.jp/2020\\_tokushibunko\\_prod/](https://opac.ryukoku.ac.jp/2020_tokushibunko_prod/))
- (注4) 龍谷蔵資料をはじめ、写字台文庫資料、禿氏文庫資料などの資料は、「貴重資料画像データベース龍谷蔵」 (<http://www.afc.ryukoku.ac.jp/kicho/top.html>) を開設し、現在約3,700タイトルが公開されている。(2021年4月19日参照)
- (注5) 随念佳博・大木彰. 龍谷大学図書館デジタルアーカイブの事例. 水嶋英治・谷口知司・逸村裕編著. デジタルアーカイブの資料基盤と開発技法—記録遺産学への視点. 晃洋書房, 2016, p.218—233.

(おおぎ・あきら ずいねん・よしひろ/  
龍谷大学大宮図書館)

## 名古屋大学附属図書館所蔵高木家文書の保存・活用におけるクラウドファンディング

鷲津 彩乃

### 1. はじめに

名古屋大学附属図書館 (以下、「当館」) が所蔵する高木家文書は、美濃国上石津郡時・多良郷内 (現在の岐阜県大垣市上石津町域) に知行地を有した旗本交代寄合・西高木家の近世・近代文書群である。総点数は10万点近くに及び、2019年には一部が国の重要文化財に指定された。高木家文書は旗本文書と

しても傑出した規模と内容を持つが、高木家が江戸時代前期から幕末まで木曾三川 (長良川・木曾川・揖斐川) 流域の治水に携わったため、東海地方の治水に関する資料が15,000点以上伝わっている点にも特徴がある。

本稿では特別コレクションの保存・活用事業における資金獲得の一事例として、当館の名古屋大学基金特定基金「名古屋大学附属図書館支援事業」(以下、「附属図書館支援事業」) が実施した2回の高木家文書のクラウドファンディングについてご紹介する。なお、附属図書館支援事業の全体については先行して紹介している文献をご参照いただきたい<sup>1</sup>。

### 2. 附属図書館支援事業における高木家文書

高木家文書は1950年代に名古屋大学が受け入れ、文書整理等を行ってきた。現在では、附属図書館研究開発室を中心に当館が資料の整理・保存・デジタル画像の作成及び公開等を行っている。しかし、2004年の国立大学法人化以降、運営費交付金の削減といった財政難から、当該事業の財政状況も年々厳しくなっている。学内外の補助金等も獲得して継続してきたが、未整理の資料も数多く残り、修復が必要な資料は数千点、デジタル画像作成予定の資料は数万点にも及び、予算の確保が課題となっている。

附属図書館支援事業は2017年に設立され、①図書館資料の充実、②図書館施設の整備・充実、③学術研究成果の公開、④貴重書・地域文書等の活用と研究促進、を4大支援事業としてご寄附を受け入れている。そのなかで、いただいたご寄附の一部を高木家文書の保存や施設整備等にも充ててきた。附属図書館支援事業では特定基金等ワーキンググループ (以下、「基金WG」) を設置し、基金WGが各種広報やクラウドファンディング等の募金活動を行っている。

### 3. クラウドファンディングの概要

附属図書館支援事業では、高木家文書の事業の継続と、高木家文書の状況を多くの方に知っていただくために2018年と2020年にクラウドファンディングを以下の表のとおり実施した。実施にあたっては2回ともREADYFORというクラウドファンディングサービスを利用させていただいた。

1回目のクラウドファンディングは他の図書館の先行事例を、2回目は1回目の記録・反省点を主に参考にしながら基金WGが行った。そのなかで、READYFOR株式会社の担当者からクラウドファンディングの知見やプロジェクトページ作成へのサポート、附属図書館研究開発室から高木家文書の専門知識にもとづくアドバイス・協力を適宜得た。

### 4. プロジェクトの内容と広報

次に、これらのクラウドファンディングのプロジェクトの内容と広報についてご紹介する。

プロジェクトの内容は、1回目は「高木家文書の修復及びデジタル画像化」とし、対象資料を特定せずに募集し、募集終了後に修復

2点・デジタル画像化約500点を選定・実施した。準備段階では、クラウドファンディングではそのプロジェクト限りで完結する内容のものが多く、ご支援も得やすいというアドバイスをいただいていた。そのため、いまだ終わりが見えない保存・活用事業の一部を実施するというプロジェクト内容には不安もあったが、プロジェクトページ公開後には多くの方に事業の意義をご理解いただき、ご支援をいただけた。また、修復では西高木家の公的な出来事を記録した「御用日記」約330冊のうちの2冊を修復した。御用日記は豊富な内容を持つが、虫損や湿害により頁が固着して閲覧を制限されているものも多い。以前から順に修復を行っていたが、クラウドファンディングによってさらに進めることができ、大きな意義があった。

2回目は、高木家文書のなかでも有名な木曾三川流域の巨大絵図2点の修復とした。巨大絵図の修復にかかる多額の費用をクラウドファンディングのみで集めることは難しいと考えたため、クラウドファンディングのほか、別の寄附金や申請予定の補助金も充てる見込みで目標金額を設定した。高木家文書では修

表：高木家文書のクラウドファンディングの概要

	1回目 <sup>2</sup>	2回目 <sup>3</sup>
プロジェクト名	名古屋大学の使命！ 東海地方の貴重な古文書を後世に	【第2弾】名古屋大学の使命！ 重要文化財の絵図を守り継ぐ
募集期間	2018年3月23日～5月22日 (60日間)	2020年11月24日～12月25日 (31日間)
目標金額	1,500,000円（ネクストゴール2,500,000円）	
方式	寄附型、All or Nothing（目標金額に達した場合のみ支援金を受け取れる）方式	
支援者数	135名※	181名
支援総額	2,444,000円※	2,783,000円
内容	高木家文書の修復及びデジタル画像化	
使 途	・「御用日記」2点の修復 ・治水関連資料約500点のデジタル画像作成・公開	・木曾三川流域絵図2点の修復 ・（ネクストゴール）高木家文書の修復及びデジタル画像化

※ほかに振込用紙によるご支援を5名からいただいた（139,000円）。

復費用が非常に高額になる資料もあるため、修復へのクラウドファンディングの活用には金額設定に工夫が必要となることもあった。

クラウドファンディングでは、こうした事業について本学の卒業生・構成員、地域の方々、基金WGメンバーの知人等、多くの方に知っていただき、ご支援をいただくことができました。2回のクラウドファンディングの広報を振り返ると、過去の支援者へのメールのほか、名古屋大学の公式Facebook・広報誌・卒業生向けメールマガジン、新聞やテレビ番組での紹介はとくに反応が大きかったように思われる。近年の災害への意識の高まりからか、2回目の方は近世の治水に関わる絵図の修復プロジェクトとして、地域の方や新聞社・テレビ局により関心を持っていただいたように感じた。結果としても、2回目では前回には達成できなかったプロジェクトページでのネクストゴールも達成でき、支援者数・支援総額とも前回を上回る結果となった。

2回目のプロジェクトはこれから修復にとりかかるところで、高木家文書の保存・活用事業もまだまだ道半ばであるが、本稿は附属図書館支援事業にご支援いただいている皆様にお礼を申し上げて結びとしたい。

(わしづ・あやの／名古屋大学附属図書館)

<sup>1</sup> 竹谷喜美江. “名古屋大学基金：特定基金「附属図書館支援事業」の設立と展開—デジタルサイネージの導入を中心に—”. 大学図書館研究. 110, 2018, p. 2020-1 ~ 2020-7  
 鷺津彩乃. “名古屋大学基金特定基金「名古屋大学附属図書館支援事業」による取り組みの展開. 現代の図書館. 57 (4), 2019, p. 193-198

<sup>2</sup> 名古屋大学附属図書館. “名古屋大学の使命！東海地方の貴重な古文書を後世に”. READYFOR. (オンライン), 入手先

<<https://readyfor.jp/projects/TakagiDocuments>>, (参照2021-5-8)

<sup>3</sup> 名古屋大学附属図書館. “【第2弾】名古屋大学の使命！重要文化財の絵図を守り継ぐ”. READYFOR. (オンライン), 入手先<<https://readyfor.jp/projects/TakagiDocuments2>>, (参照2021-5-8)

## 桂図書館の貴重書庫紹介

長坂 和茂

京都大学桂図書館は2020年4月に開館した、2021年6月現在京都大学で最も新しい図書館です。

桂キャンパスには2003年の開設以来、独立した図書館がなく、これまで化学系・電気系・建築系・地球系・物理系の5つの図書室を設置して所属者への図書館サービスを提供していました。この状態が長らく続いていましたが、ついに昨年待望であった図書館が開館するに至りました。

桂キャンパスには主に工学研究科に所属する教員・院生・4回生以上の学部生が所属しており、桂図書館も工学研究科の所属者を主たるサービス対象とし、工学研究科の部局図書館という側面も持っています。

京都大学工学研究科は1897年設立の京都帝国大学理工科大学に端を発する歴史ある部局で、所蔵資料にも貴重書と呼ばれる図書が含まれているにも関わらず、これまでは専用の貴重書庫を持っていなかったため、保存環境などに課題を抱えていました。

桂図書館はこの課題の解決のため、建設にあたって貴重書庫を設置しました。本稿では、この貴重書庫およびそこで保存する貴重書について紹介します。

#### ・配架予定資料

桂図書館の貴重書庫には、2021年度中に資料を移転する予定となっています。そのため、2021年6月現在、資料はまだ配置されていません。ですので、ここでは現時点で移転が予定されている資料群を紹介します。

資料群のなかで量的にも質的にも最も大きなウェイトを占めるのは、現在吉田建築系図書室で所蔵している貴重書です。この中には、特に重要な資料として明治期のお雇い外国人であるジョサイア・コンドルによって建設された建物の図書類、重要文化財「ジョサイア・コンドル建築図面」が含まれており、ジョサイア・コンドル関係の資料としては日本最大にして最良のコレクションと評されています(注1)。「ジョサイア・コンドル建築図面」は京都大学貴重資料デジタルアーカイブで公開されている(注2)ため、利用よりも現物の保存に重きを置いた運用がなされる予定です。

また、吉田建築系図書室以外にも貴重書を所蔵している図書室があるため、これらの資料も同様に貴重書庫に配置予定です(注3)。

#### ・保存環境

桂図書館の開館以前、工学研究科では一人職場である図書室で図書館サービスを提供していましたので、貴重書といっても、適切な保存環境が整備されているとは言い難い状況でした。これを改善するため、2020年度工学研究科長裁量経費の採択を受けて、保存環境の整備プロジェクトが実施されました。このなかで先述の吉田建築系図書室の貴重書を中心に、中性紙の保存箱に入れるなど保存環境の改善をし、資料移転に対する準備をすることができました。

#### ・什器

設置している什器としては、スチール書架をメインの什器として設置しています。桂図

書館内の一般的なスチール書架は1段85cmの幅になっていますが、この貴重書庫に設置したスチール書架は大判の資料も置くことができるように、一部の棚は通常よりも幅を広く180cmとしています。

また、先述した重要文化財であるジョサイア・コンドル建築図面などの大判の図書類を保管するための大型の木製箆筒を、こちらも先述した研究科長裁量経費によって整備しました(注4)。

また貴重書庫の前室には大型の木製机を設置し、大判の図面を閲覧する際の環境を整えています。

#### ・空調などの温湿度管理

貴重書庫の環境を管理するにあたって最も重要な空調設備については、パッケージ空調機を2基設けることで、片方が故障した場合にも空調を止めないようにしているほか、通常運転時においてもローテーション運転をすることで機器寿命の長期化をはかっています。また、停電時の非常電源にも対応しており(注5)、常に最適な温湿度が維持できるようにしています。

さらに、壁面は調湿壁を採用し、さらに室内の湿度変化を抑える構造としています。

また、空調装置の温湿度計とは別にBluetooth対応の温湿度計を複数用意し、貴重書庫内に入らなくても温湿度記録を取得できるようにしています。

以上のように、桂図書館の貴重書庫は施設としては完成していますが、資料そのものが入るのは今年度中の事業となっており、その活用についてはまだまだこれからという状況です。これまでの運用以上のサービス展開については、今後検討を進めていくこととなっています。

桂図書館は、京都大学で最も新しい図書館であることもあり、最先端の図書館サービス

を提供することが期待されています。これから様々なステークホルダーとともに貴重資料の保存・活用についても、最先端のサービスを提供できる図書館を目指していきます（注6）。

（注1）岸泰子「京都大学所蔵の建築図面 -- 重要文化財（歴史資料）「ジョサイア・コンドル建築図面」と「武田五一建築図面」「藤井厚二建築図面」--」『静脩』43（2），p. 3-4，2006-11

（注2）工学研究科建築系図書室（吉田）所蔵重要文化財「ジョサイア・コンドル建築図面」| 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ <https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/collection/dep-arch-conder> (2021/06/19閲覧)

（注3）例えば、桂地球系図書室で所蔵していた旧資源工学図書室の貴重書など。当該資料群については、以下の文献を参照。

塚田和彦「デ・レ・メタリカと開礦器法圖説と佐渡金銀山絵巻：旧資源工学図書室の蔵書の桂図書館への移管」『水曜会誌』25（3），

p. 203-219，2020-10

（注4）@kukatsuralib “桂図書館の貴重書庫に、重要文化財「ジョサイア・コンドル建築図面」などの貴重な建築図面を入れるための木製箆筒が納入されました。木製の箆筒は温湿度を一定に保ち、資料を良好な環境で保存するためにとっても有用です。

今年度の研究科長裁量経費による貴重資料保存環境改善プロジェクトの一環です。” 2020年11月15日 午後4:35 Tweet. <https://twitter.com/kukatsuralib/status/1331501737790689280>

（注5）藤井敏，釜直樹「京都大学桂図書館」『BE建築設備』72（2），p. 11-17，2021-02

（注6）<https://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/contribution/katsuralibrary/> 京都大学基金の中に設置している桂図書館基金では、貴重書庫の整備もその用途として設定しています。

（ながさか・かずしげ／

京都大学桂図書館学術支援掛）

## 2021/2022年度会費納入のお願い

大学図書館研究会事務局会費徴収担当

大学図書館研究会の会費は、会則第16条に定められているとおり、前納制です。

大学図書館問題研究会則（抄）

第16条 この会の経費は会費、事業収入および寄付金でまかない、会員は会費として年額5,000円を前納しなければなりません。

（中略）

4 この会の会計年度は7月1日より始まり、翌年6月30日に終わります。

会費納入がお済でない会員各位、会費の納入をお願い申し上げます。  
グループご所属の方は、グループ活動費も合わせてお納めください。  
会の安定的な運営のため、ご協力をお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

会費納入について：事務局会費徴収担当 [kaihi@daitoken.com](mailto:kaihi@daitoken.com)

## 第29回大図研オープンカレッジ 「効果的なガイダンス動画作成講座」参加報告

河野由香里

2021年6月5日(土)、オンライン会議システムZOOMを用いて、第29回大図研オープンカレッジ「効果的なガイダンス動画作成講座」が開催された。本稿ではその内容を報告する。

### 1. 講演「効果的なガイダンス(動画)作成概論」

帝京大学高等教育開発センターの宮原俊之氏から「効果的なガイダンス(動画)作成概論」というテーマでご講演いただいた。宮原氏は情報技術を活用した新しい教育方法の開発や、授業設計を専門とする教育者の育成、教育方法の開発等を専門とされている。以下、特に印象に残った内容をいくつか挙げる。

#### 1-1. 従来と同じ形式にこだわらない

授業・ガイダンスを対面からオンラインに変更しても、学習者が達成すべき目標は変わらないが、目標を実現するための過程は変わってよい。対面で行っていた時と同じ形式にこだわらないことが重要である。紹介のあった「平時に戻るまでの遠隔授業のデザイン」<sup>1)</sup>7か条の3~5や、「授業をオンライン化するための10のポイント」<sup>2)</sup>は、最初の段階で目にしておきたいポイントと感じた。

#### 1-2. 授業設計が命

テクノロジーを使った量と学習効果は比例しない。使いすぎることによってわかりづらく、コンテンツを短命にする可能性もある。どのテクノロジーを使うかということより、授業設計の基本を意識すべきである。授業の到達目標とその評価基準・方法を考え、目標達成にふさわしいパターンやバリエーション

ン、授業方法を選択する。その上で教材を作成し、期が終わったら振り返る。設計の途上であっても機を見つけ、この基本に立ち返る必要がある。

#### 1-3. 記憶のメカニズム

授業設計を考える上で最初に知っておきたいこととして、人間の記憶のメカニズムについて説明があった。記憶をより長期のものとするためには、学習者を授業に関わらせ、自身の経験と結び付ける「エピソード記憶」を作らせることが有効である。

#### 1-4. 教材の独り立ち

オンライン授業では学習者の周りには誰もいないことになる。つまづきやすいポイントを独力で解決できるよう工夫するのはもちろんのこと、扱うテーマを「一人でできそう」「将来役に立ちそう」等、自分ごととして取り組みやすいものとするのが理想である。また教材について情報を詰め込みがちになってしまうため、情報量は対面授業と同程度とし、本論以外の部分については補助資料へ、補助資料についてはナビゲートをつけ学生に選択させるとよい。

上で報告した以外にも有用な情報を多数ご紹介いただいた。ご講演で宮原氏が「本日の話を受けて実際に行動してほしい」と参加者に繰り返し喚起されていたことが強く印象に残っている。筆者も早速取り組んで行きたい。

### 2. 事例紹介「筑波大学での大学院生チューターによる動画作成の取り組み」

筑波大学附属図書館の石津朋之氏から、大学院生チューター「ラーニング・アドバイザー」(以下、LA)による動画作成について事例紹介があった。石津氏からは詳細な報告があったが、紙面の都合上内容を絞ってご紹介したい。

## 2-1. LAとは

博士前期・後期課程の大学院生6～8名で構成され、学生サポートデスクにおける相談対応の他、Web本棚サービス「ブックログ」による本の紹介や年1～2回のLA企画(展示・セミナー)等の活動を行っている。

## 2-2. 動画「LAが筑波大生の質問にオンラインで答えてみた」<sup>3)</sup>

学生から集めた質問にLAが座談会形式で回答する動画で、オンライン授業のため周りに相談相手がいないであろう後輩たちの悩みの解決と、LA活動のプロモーションを目的として作成された。作成時の話として、撮影場所や機材、使用したソフト(Adobe Premiere Rush)の説明があった。またLA勤務時間の上限があり、撮影をミーティングに合わせたこと、編集で終わらなかった分の仕上げを職員が担当したこと等、苦勞した点についても報告があった。

## 2-3. 取り組みを通して

得られたものとして、学生の潜在的なニーズにリーチする手段が増えたことを挙げていた。一方、効果的なコンテンツを作成するには経験不足であり、視聴時間を増やすための工夫や、アンケートや次の動画への誘導等を今後の改善点として挙げていた。

石津氏からの報告後、実務に関する質問が多数寄せられた。今回の取り組みに興味を持った参加者は少なくないと思われ、今後同様の取り組みが広がることを期待したい。

## 3. さいごに

今回のようなイベントにオンラインで参加できるようになり、以前よりフットワーク軽く学びを深めている方もいるのでないだろうか。参加者として利益を享受しつつ、学生の学びを支える我々も、受け手の学びにより効

果的な方法を模索していかなければならない。

さあ、今回のDOCの効果はどれほどのものだったのだろうか。事の次第は、我々の行動にかかっている。

(この・ゆかり／北海道大学附属図書館)

## 参考文献

- 1) 鈴木克明. “無理はしないで同じ形を目指さないこと：平時に戻るまでの遠隔授業のデザイン”. 国立情報学研究所(【第4回】4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム). [https://www.nii.ac.jp/news/upload/20200417-9\\_Suzuki.pdf](https://www.nii.ac.jp/news/upload/20200417-9_Suzuki.pdf), (参照 2021-06-30) .
- 2) “授業をオンライン化するための10のポイント”. 大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部. <https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/project/onlinelecture/tips01.html>, (参照 2021-06-30) .
- 3) “LA企画「LAが筑波大生の質問にオンラインで答えてみた」の動画を公開しました”. 筑波大学附属図書館. <https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/information/20210106>, (参照 2021-06-30) .

□大学図書館研究会出版部 (出版物購入・問い合わせ窓口)

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学図書・情報館気付

Fax: (044) 989-2250 E-mail: shuppan@daitoken.com

<出版物購入代金等振込先> ゆうちょ銀行 振替口座: 00140-6-482205 大学図書館研究会出版部

三菱UFJ銀行 越谷駅前支店 普通口座: 1403054 大学図書館研究会出版部

□大学図書館研究会事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 筑波大学図書館情報メディア系 呑海研究室気付

E-mail: dtk\_office@daitoken.com

<会費振込先> ゆうちょ銀行 振替口座: 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

## 第52回全国大会直前のご案内

第52回全国大会実行委員会

第52回全国大会 (2021年9月18日 (土) ~ 20日 (月・祝)、オンライン開催) の参加申込締切は2021年9月10日 (金) 17時となっております。昨年に続きオンラインでの開催です。実地開催では参加できなかった方も、ご自宅からの参加が可能です。全国の大図研会員の皆様が交流できる機会ですので、是非参加をご検討ください。

なお、当日受付も含めて申込締切日以降の参加申込はできませんので、ご注意ください。

非会員の方も参加できますので、職場の同僚の方や大図研に興味をお持ちの方にもお声がけいただければ幸いです。

多くの皆様とお会いできることを楽しみにしております。

※参加費: 会員: 0円 / 非会員: 3,000円

●申込方法・全国大会の詳細については、全国大会ウェブサイトをご参照ください。

ご不明な点は全国大会実行委員までお問い合わせください。

全国大会ウェブサイト: [https://www.daitoken.com/research/annual\\_conference/2021](https://www.daitoken.com/research/annual_conference/2021)

参加申込: <https://daitoken-zenkoku-52.peatix.com/>

全国大会実行委員: [taikai@daitoken.com](mailto:taikai@daitoken.com)

※自主企画もまだまだ募集しています。

## 第52回全国大会における会員総会資料のご案内

第52回大学図書館研究会全国大会において、大学図書館研究会会員総会を開催いたします。奮ってご参加をお願いします。なお会員総会は、大図研会員のみの参加出来る行事です。

会員総会資料は、会報『大学の図書館』のデジタル頒布場所と同じウェブページで公開しています。

[https://www.daitoken.com/publication/kaiho/sokai\\_2021.pdf](https://www.daitoken.com/publication/kaiho/sokai_2021.pdf)

会員総会資料の閲覧には、会報の閲覧と同様、IDとパスワードが必要です。

IDとパスワードが不明な会員、及び上記ウェブページから入手が困難な会員は、以下の問い合わせ先にご照会ください。折り返しご連絡いたします。

なお、今回も、冊子体の「会員総会資料」は配布いたしません。

また、会員総会資料は、会員総会終了後、速やかに削除いたします。

会員総会資料そのものは、会報2021年12月号「大会記録号」に記載いたします。

【問い合わせ先】

大学図書館研究会事務局 [dtk\\_office@daitoken.com](mailto:dtk_office@daitoken.com)